

平成30年度 第1回市川市少年センター運営協議会 会議録（発言要点）

日時 平成30年8月3日（金） 15時00分～17時00分

場所 生涯学習センター 第3研修室

出席 三部副会長、宮崎委員、青木委員、堀江委員、相原委員、小貫委員(代理 七尾氏)、岸委員
飯田委員、神吉委員、富田委員、木村委員
(教育委員会) 早川所長、石原所長、大根田主査、石原副主幹

0 運営協議会委員委嘱辞令交付式

新規委嘱者4名に、学校教育委員会教育センター早川所長より委嘱状交付
教育委員会挨拶 [早川所長]

1 運営協議会 開会

2 委員の紹介及び職員紹介

3 会長・副会長選出及び挨拶 [三部副会長]

4 報告 [石原所長]

- ①平成29年度活動報告
- ②平成30年度活動方針と計画
- ③最近の補導、相談活動実施状況（平成30年4月～7月）
- ④少年補導員の委嘱状況

5 警察より最近の少年の補導状況等について

市川警察署 [相原委員]

- ・交通事故の死亡者数が増えていることが懸念材料。
- ・7月単月で見ると、少年の補導件数80件は、前年同期と比べてマイナス88件。
主な理由は喫煙と深夜徘徊。飲酒はお店の対策もあり、80件中3件のみ。
- ・少年の犯罪件数も上半期で12件。昨年上半期と比べてマイナス38件。
- ・夏休みから秋にかけて、振りこめ詐欺の発生が全国的に増える。
高齢者への「振り込まない」という啓発より、少年たちに「加担しない（受け子などにならない）」
というアプローチのほうを重点的に行っていく。

行徳警察署 [小貫委員(代理 七尾氏)]

- ・7月単月で見ると、少年の補導件数73件は、前年同期と比べてマイナス55件。
主な理由は喫煙と深夜徘徊と怠学。
- ・6月の刃物男の騒動では、近隣の住民がマンションの上から撮った映像が検挙の材料になった。
情報提供が早い検挙につながるの、関心が高まっていることはありがたい。
- ・少年相談では、インターネットに裸の画像を上げてしまって拡散してしまった、など映像投稿絡み
のものが増えている。回収や検挙は難しいので、事前の対策をしっかりとしてほしい。

【質問】(堀江委員)「ながらスマホ」での事故は増えているのか。

【回答】(相原委員)具体的な数は上がっていないが、加害者になってしまうことを十分理解してほしい。

(七尾氏)自転車総合対策として、月に一度声かけをしている。効果は上がっている。苦情やトラブルはあるが、事故件数は減っている。

【意見】(三部委員)行徳地区では自転車の違反についてイエローカードを渡されると聞いた。具体的には?身分証明の提示など求められるのか。

(七尾氏)強制力はないが、高校生は身分確認をしている。大人も名前は控える。

(堀江委員)警告があるだけで違う。警察官の制服も抑止力になっている。

(岸委員)イエローカードは手渡しするのか、提示するだけか。

(七尾氏)手渡ししている。

【質問】(石原所長)ノンアルコールビールや煙の出ないたばこも声かけの対象になるか。

【回答】(富田委員)缶には20歳以上と明記されているから、声かけすべき。

(三部委員)ノンアルコールビールを持っていても未成年なら声かけすべきか。

(富田委員)(堀江委員)すべき。

6 協議

[大根田主査]

・平成30年度 少年センター活動方針と計画 について

○運営テーマ「インターネット犯罪に巻き込まれないために」

【意見】(宮崎委員)ICT活用の観点から、全生徒がタブレットを持つようになる。

常に手元にあることで効果が上がることもあるが、却って問題行動を促すことにならないかが心配。

タブレットの良さを活かしつつ、安全に使わせるためのルール作りをどうしていくかが課題になっている。

(青木委員)安易な個人情報の公開からくるトラブルも多く、早い段階からの指導の大切さを感じている。

(堀江委員)今までとの価値観の変革が起きている。便利な使い方と犯罪につながる使い方との区別をどうしていくかが課題。

使ってもいい、ただしここまで、という範囲を決めて使わせるようにしたい。

(相原委員)自分の時代にあったら、きっとはまっていると思う。

大人が使っているものを我慢しろとは言えないが、表に出せない被害が増えていることも事実。

(七尾氏)こうなるとは思わなかった、どうしたらよいか、という相談が多い。

「してはいけないこと」が何なのかをしっかりと教えることが大切。

依存がトラブルにつながり、110番通報や家出に発展していく。

正しい使い方を教えるのは大人の役割なので、しつこく教えていく。

(三部委員)低学年からの積み重ねが大切ということ。

(七尾氏)安全ツールとして持たせておくだけならよい。

(岸委員)昔、各家庭では一台しか電話はなく、時間も場所もルールが決まっていた。

今、それが失われていることで問題が起きている。システムとして、何時からは親の管理下、など規制することが必要なのでは。

外部と連絡のとれない「自分の時間」を持たせることは保護者が保障しないと
いけない。

(三部委員)今は電話をひいていない家庭もある。昔は家の電話を使うことで、保護者は
子供の交友関係を知っていたが、今はそれができない。

(木村委員)自分の家庭では子供に一切の制限をかけていないが、子供がトラブルに
巻き込まれても、守ることはできないということを教えている。子供の世界に
親は入れないので、子供は子供の間人間関係の中で生きていくしかない。
中で何をしているのかは一切把握していない。

(富田委員)子供より保護者がスマホにはまっている。小さい子もスマホを与えられれば
静かになる。子供たちの生活にインターネットが浸透している。
「YouTuber になりたい」という子供が増え、実際に子供が動画を投稿している。
何か事が起きてからでは遅いので、保護者が危険を知り、持たせる前に約束を
決めることが大切。

(神吉委員)保護者自身がルールを作っても守れないことがある。自分の家庭で課金は許して
いないが、子供に聞くとそこでトラブルになることもあるという。

(飯田委員)保護者から子供へ、インターネットは便利であるが怖いものでもあるという
ことを伝えていかなければならない。

(三部委員)子供の方が使い方を分かっている。

6 その他

【質問】(木村委員)現代は喫煙者が減り、喫煙できる環境も少なくなっているが、中学生の喫煙が
増えていると言われたが、そのきっかけや様子は。

【回答】(相原委員)興味本位で吸ってみただけ、というのが多い。

(堀江委員)周りに言われていきがっているだけ。

(富田委員)昔のように簡単には買えなくなっている。

(相原委員)値段も上がっており、システムとして買いつらくなっているのは事実。

【質問】(木村委員)どういうところで見つけるのか。

(富田委員)お祭りなど、人が集まっているところ、人に見られるところで吸っている。

(相原委員)いつでも吸う、という子はそういう場所には出てこない。

7 事務連絡

[石原所長]

- ①委員報酬辞退・委員報酬振込先確認について
- ②会議録や委員名簿等の公表について
- ③次回予告 11月7日(水)午後3時 第3研修室
- ④駐車券処理について

8 閉会